

第1期 国分寺市公民館運営審議会 平成28年度第17回定例会 要点記録

日時 平成29年1月17日(火) 午後3時30分～5時30分

場所 国分寺市立本多公民館 講座室

出席者

委員 佐藤委員長・田中(英)副委員長・門委員・長谷部委員・橋本委員・萩原委員・戸澤委員・大澤委員・田中(雅)委員(欠席委員2人)

職員 山崎公民館課長兼本多公民館長・秋元恋ヶ窪公民館長・豊泉もとまち公民館長・本望並木公民館長・齋藤本多公民館事業係長・木場主任

1 連絡事項

(1) 配布資料確認

(2) 第15回・第16回定例会要点記録⇒本日配布している。1月28日までに確認し、修正等がある場合は 連絡をいただきたい。

2 協議事項

(1) 答申について

①ワーキンググループの報告 第3グループ

委員：資料1に基づいて、第3グループのまとめの説明。

委員長：すべての公民館の事例が網羅されているのか。

委員：ワーキンググループメンバーの館の事例は、それぞれの館のメンバーが書き、もとまち公民館の事例は資料をもらい取り入れている。恋ヶ窪公民館の事例が入っていないので後ほど入れる。

委員長：「異世代交流事業」は全市で実施しているのではないのか。

委員：本多公民館の事業。世代間の交流事業は、他の公民館でも名称は違うが実施している。

委員：このテーマは、子どもから高齢者まで幅広い年代のことを取り上げているので、大事に取り扱い、どの館のものも取り上げたほうがいい。

委員長：わかりやすい説明で、「現状・効果・今後の課題」の形になっているのがいい。個々の事業の内容はかなりカットしているのではないのか。

委員：本多公民館の事例はそれだけで1冊になるような量なので、まとめている。

委員：そのまま全て載せるとポイントがぼやけてしまうので、まとめないといけない。ワーキンググループの報告でも本多公民館運営サポート会議の報告でも入る内容になる。

委員長：まとめるとなると大変な編集作業となる。

委員：ワーキンググループ①の報告、ワーキンググループ③の報告、ワーキンググループ⑤の報告が重なっているので、どこまで書いたらいいか悩む。

委員長：全体の編集の中で、同じ内容が出てきた時に、前のページにあれば名称だけ載せて、「〇〇章の〇〇ページ参照」という形に整理したらいいのではないのか。別冊の資料編にまとめる形にすることもできる。そこその枚数

でまとまっているのであれば、そのまま答申本文に入れることもできる。
どちらの方法にするか迷う。

委員：せっかくなのでまとめたものを無くしてしまうのはもったいない。今回の答申は、総まとめ集となれば歴史に残る。まとまった形で書かれたものは残しておいて、地域交流事業をまとめ補完するのもいいと思う。

委員長：コラムの形にしてもいいと思う。本文に入れるのではなく、写真などを入れてデータとして挿入できればいいと思う。別冊資料版ができた時には、冊子にするかWEB版にするか、公表の仕方は今後考えればいい。

委員：全館で取り組んでいる事業でないものは、取り組んでいる公民館名を書いたほうがいい。

委員：今取り組んでいなくても、今後取り組むことを考えているのであれば、そのことも書いたほうがいい。

委員長：必要な事実を書いたほうがいい。

委員：3ページの「里山保全活動」の項で、「間伐作業」という表現があるが、現在のように全体が大木化した雑木林で市民が間伐をするというのは難しいと思われるので、実態に合わせて表現を変えたほうがよいのではないか。どのような木を除伐するかによって用語使いが変わると思う。

委員：資料に「間伐作業」とありそのまま載せたが、表現の仕方を修正する。

委員長：事実関係を聞いて修正をお願いします。

②ワーキンググループの報告 第6グループ

委員：資料2に基づいて、第6グループのまとめの説明

委員長：平和については、他自治体であれば取り上げないかもしれないが、国分寺市は「非核平和都市宣言」をしているのでとりあげた。

委員：橋本委員のまとめは、公民館がおさえなければならない柱の一つになるのではないかと思うので、ワーキンググループの報告の前に出して活かしたほうがいいのではないか。

委員長：職員がまとめる「50年の歩みとまちづくり」のところに入れるということか。

委員：6つのワーキンググループのまとめの前に入れるということ。

委員長：恋ヶ窪公民館の事業として原爆体験を伝えるということか。

委員：恋ヶ窪公民館の事業として行っているのではない。国立市などが「伝える人づくり」を始めているが、そのような事業を急ぐ必要があると思った。

委員長：恋ヶ窪公民館として取り組んでいるのはパネル展になるのか。

委員：その他に公民館まつりで、参加している団体が平和についてしている。

委員長：他のワーキンググループのまとめと比べてどうだろうか。一つひとつの事業を「現状・効果・課題」としてまとめているが、第3グループは、大きなジャンルに分けて全館の事業を総括し課題を出している。

委員：もとまち公民館のものと、資料が出た本多・並木公民館のものを「現状・効果・課題」の形としてまとめた。他に事業があればまとめる。平和をう

たった事業という、もとまち公民館の「平和のつどい」が出てくる。各館でも何か事業があるはずなので、各公民館それぞれの取組を事例として出して、その特徴を載せたい。

委員長：一覧リストはもとまち公民館だけか、すごいですね。これを資料として載せたい。

委員：ぜひ載せたいと考えている。公民館の講座は講師料が安い、いろいろな先生方が来てくれている。

委員長：映画はどうなっているのか。DVDはいくらで借りられるのか。

事務局：上映権付きで観客が50人未満の場合、16,000円に消費税となる。

委員長：平和に関するものだけを上映しているのか。

委員：平和に関するものが194本中85本になる。3本に1本、1年に1回平和に関する映画を上映している。

委員長：平和以外の作品も上映しているということは、シネマサロンとして取り組んでいるのか。

委員：公民館の事業として実施している。平和がテーマなので、その中から該当する映画を載せた。

事務局：「シネマサロン」という事業で、年間3本の映画の上映を行っている。そのうちの1本を平和に関するテーマで選び、夏に「戦争と平和」に関する事業として実施している。

委員長：予算が減ってフィルムが借りられなくなっていると書いてあるが。

委員：以前は年6回上映していたが、今は年3回。

事務局：以前は、16mmフィルムを安く借りることができたが、今は借りられなくなってしまった。上映権付きの映画を貸す会社も減り、借りることが困難になっている。都立多摩図書館が16mmフィルムの貸出をしていたが、作品が古くなってきた。最近の作品は値段が高いため、予算を確保するのは難しい。

委員長：特定の人だけで見るのであれば著作権法にかからないのではないかな。

事務局：広く公募して上映会をする場合は著作権法にかかる。

委員長：16mmフィルムが中心なのか。DVDを借りるのが16,000円もするのか。市販のDVDを安く買って上映するわけにはいかないのか。

事務局：16mmフィルムは少ない。借りるDVDは著作権の許諾が取ってある上映権付のもの。市販のものは個人で楽しむものなので公民館では上映できない。本多公民館で上映する場合は観客の人数が多くなるので借りるレンタル料がもっと高くなり、60,000円ぐらいになる。

委員：全国の公民館で安く借りられる仕組みができないか。

委員長：映画館は入場料を取らないと成り立たない。本屋で安く売っているものが使えるといいのだが。図書館から借りたものならいいのかな。

事務局：図書館が所蔵しているものであればいいのかもしれないが、著作権の許諾の範囲になる。平和のテーマに合うものが少ない。

委員長：貴重な上映会をしている。

委員：これからまとめることになるが、第6グループの平和についてはとても具体的で実感がわく内容になっている。一方、第3グループの子どもについては情報量が多いので内容を吟味している。まとめ方の粗さ、細かさを同じように揃えるのか。分野によっては平和のように一覧リストなどの資料を作ることはできるか。ある程度揃えた方がいいのではないか。

委員長：橋本委員の文章は全体にかかわることなので、他の公民館の事例や他自治体の事例も入れて、こうしていった方がいいという提言の文章にしたらどうか。資料2の5ページの分を第6グループのまとめから出して、ワーキンググループ全体の文章の最初のところに持って行ってはどうか。

委員：公民館がなぜ必要かという部分に入れたらいいと思う。

事務局：3月1日に編集会議をし、まとめることになっているので、その時に最終的な場所は決めるのでどうだろうか。

委員長：最終的なものは2月21日の会議でまとめる。3月1日は委員長、田中(雅)委員で前書き・後書きをまとめる。3月21日に全体の総括総論をする。そこでまとめ切れなければ、4月に会議を設ける。2月21日に全体の文量もわかるはず。提案いただいた「現状・効果・課題」の形にテーマごとにまとめることでよろしいか。

委員：第1グループは「現状・効果・課題」にまとめる。

委員：まとめ方を変えことが確認できれば、第2・第4グループはまとめを作成し直す。

委員長：各グループでフォーマットを直し、2月6日までに事務局に提出する。ワーキンググループごとに、資料を入れるとか一覧リストなどのデータを入れてもらいたい。コラム的に紹介するようにしてもいい。読みたくなるようなものに仕上げていきたい。答申としてシンプルな文章だけでなく、読み物して読めるようにしていきたい。

委員：写真はどうか。

委員長：保育室の事業などは資料編に写真体験記を入れるのもいい。各グループ2つずつ厳選してA5版でコラムを作るのはどうか。資料編を別冊として紹介したい。

委員：答申本体が出てこないと文体はわからない。70ページもあるような答申は出せない。答申の柱だけ3ページくらいにまとめ、概要版のようにする形にした方がいいかもしれない。

事務局：ワーキンググループで積み上げてきた部分は、公民館の歩んできた道がよくわかり、その上の提案が出ている。10ページぐらいの答申と資料編にし、まとめてきたことを資料編にして付ける方法もある。まずは、各報告を集めたところでご意見をいただきたい。

委員長：答申は提言になるので、国分寺市の公民館が今までしてきたことをどう提言にしていくか、その材料を今は集めたところ。これで終わりというのではなく、これからどう進めていけばいいのかという議論が必要だと思う。任期満了まで残りの回数は少ないが、「地域づくり」をまとめるだけではな

く、公民館が必要であるところを、文書で公的に残していきたい。この答申を作ることは簡単なことではない。

委員：公民館運営サポート会議は提言が多くなるのか。まだ取り組めていないことをこれから取り組むべきだというようなものがあると思う。表現はどうかかわからないが提言となるのではないか。

事務局：提言の基になると考える。各ワーキンググループからあがってきている課題の展開が柱を作っていくことになる。2月6日までに出していただいたものをまとめ、お配りする。

委員長：公民館運営サポート会議からは、今までしてきたこと、これからしていこうとすることをまとめて提言する形となるのではないか。

事務局：各館が力を入れてきたことには経過があるので、重なる部分もあると思うが、それぞれの視点で書いたものとして、大切な資料として載せてもらえるといい。

委員長：ワーキンググループは取り上げる内容を取捨選択しているが、公民館運営サポート会議はよくディスカッションしてもらい、絞りこんだものを載せてもらいたい。公民館運営審議会は一つになったが、各館がそれぞれ独自に取り組んでいくことを今回の答申で主張することが大切。各公民館運営サポート会議がそれぞれ言うべきことを言うのが主旨。その他のグループもおおまかな様式にまとめていただく。ワーキンググループのまとめについて、他に補足や意見はないか。

事務局：忙しい中、ワーキンググループごとに集まっていたので、事務局も入って最終のまとめをする。

3 報告事項

(1) 平成28年国分寺市教育委員会第12回定例会について

事務局：公民館についての報告事項はない。その他、市立小学校給食調理業務委託の第二期アウトソーシング実施計画の策定、国分寺市スポーツ振興計画案への意見について審議している。スポーツ部門は今年度から市長部局に移った。

4 その他

(1) 第53回東京都公民館研究大会について

事務局：資料3に基づいて、各委員の課題別集会の割り振りについて確認する。

(2) 施設予約システムについて

事務局：全導入施設の職員を対象にシステムの操作方法の説明会があった。事前に団体登録をしていただくこと、会場受付は当面継続することは変わらない。現在システムの設定を事業者が行っており、部屋の使用要件などを各施設でまとめ、入力している。コミュニティ施設である地域センター・福祉センター・男女平等推進センター・教育センターの担当課と運用についての打合せが始まり、コミュニティ施設間で齟齬のないようにしていく。

規則や要綱についても全庁的に検討を始めている。市報2月1日号に施設予約システムを6月1日から導入する記事を掲載する予定。各施設で会場受付の場などを使い利用者に説明していく予定。実際にシステムをどう利用するのかという説明は、詳細がまだ決まっていないので、決まり次第利用者懇談会などで利用者には説明することとなる。

委員：市報2月1日号が出れば、利用者からの質問があると予測できるので、統一した回答ができるようにしてほしい。利用者懇談会の設定なども願う。

(3) 管外研修について

事務局：管外研修は3月3日（金）に富士見市水谷公民館で決定。

(4) 条例の一部改正について

事務局：国分寺市公民館使用条例の一部を改正する。申請書類の様式の整理のために施行規則を策定し盛り込むことにした。また条文の文言を整理し、許可権限を明確化する。使用料の還付についての条文がなかったので整理をする。施設予約システム導入に向け、例規を整理して他のコミュニティ施設と同様にしていく。

委員長：次回は2月21日（火）午後2時から午後4時、講座室にて開催する。以上で本日は終了する。